

# 歴史や文化紹介 「あかい奈良」 通算50号

奈良の歴史や文化などを紹介する季刊誌「あかい奈良」が今月発売された最新号で通算50号となった。これからも奈良の魅力を発掘したいと意気込んでいる。

他府県に比べて情報誌が少ないことから、奈良市の印刷会社社長、沢井啓祐さん(63)らが平成10年9月に創刊。奈良に古来伝わってきた色にちなんでタイトルを付けた。フリーライターや主婦など、さまざまな本業を持つ編集スタッフが、報酬なしで取材、執筆に当たる。広告収入に頼らない制作・発行を続けている。

各号、カラー写真を生かした特集と、奈良にちなむ人へのインタビューを2本の柱として構成。48号では遣唐使の旅、49号では奈良朝の紙などをテーマに特集を組んだ。50号の特集は「残していきたい奈良 伝えていきたい奈良」。東大寺二月堂の階段や棚田などの美しい風景を紹介している。また、宗教学者、山折哲雄氏へのインタビューも掲載されている。

「歴史に興味がない人にも手に取ってもらいたい」。こう語る4代目編集長の倉橋みどりさん(44)は今後、江戸時代以降の奈良も紹介していきたいという。

「奈良の良いところは理詰めで考えないところ。受け継いできたものを変えず、シンプルにバトンを渡していきたい」と話している。

全国の書店で販売。A4判。1冊500円。問い合わせは「あかい奈良」編集局(☎0742・20・5044)。

最新号で創刊50号を迎えた「あかい奈良」

